



幸田町は、愛知県内の全市町村の中で、1人1日当たりのごみ排出量（資源ごみを除く）が一番少ないまちです（平成18年度）。でも…

緊急事態

メタボリックシンドローム

# ごみメタボにご注意!

町民1人当たり1年で（平成17→18年度）

# 5.5キロ増!



## 3つのごみメタボ対策でエコと節約を

### 1. 紙ごみ

燃やすごみの中には、紙ごみが1人当たり1日88グラムあり、このうち50パーセントが資源化できると考えられます。この資源化できる分を年間ごみ処理費用に換算すると、

- すべて燃やした場合 338円
  - 資源回収した場合 113円（回収団体報奨金含む）
- 資源回収にすれば、
- 1人当たり **225円/年**の節約
  - 町全体で **800万円/年**の節約

### 2. 生ごみ

燃やすごみの半分は生ごみで、1人当たり1日153グラム、1年間で約56キログラムを排出しています。畑に埋める、生ごみ処理機やコンポストの利用、水きりにより生ごみを減量することができます。生ごみをゼロにした場合、ごみ処理費用に換算すると、

- 1人当たり **1,183円/年**の節約
- 町全体で **4,400万円/年**の節約

### 3. レジ袋

マイバッグを利用すれば、1人当たり年間約300枚のレジ袋削減となり、町全体で年間約81トン減量できます。

- これをごみ処理費用に換算すると、
- 1人当たり **48円/年**の節約
  - 町全体で **170万円/年**の節約
- また、石油量に換算すると、
- 1人当たり **5.5リットル/年**の節約
  - 町全体で **19万6千リットル/年**の節約

3つのごみメタボ対策を実施することで、ごみ処理にかかる費用は、

- 1人当たり **1456円/年**の節約
- 町全体で **5,370万円/年**の節約

このほか、燃やすごみが減ることで、**CO<sub>2</sub>（二酸化炭素）の排出量を抑制**することができます。

“メタボリックシンドローム”は生活習慣をちょっと改善するだけで防ぐことができます。みんなで続けていきましょう。

ごみメタボ対策を実行して、燃やすごみ指定袋を「小」から「特小」に変更すると、指定袋の購入費用が**1,040円/年お得に!!** ※週2回×52週の場合

問合せ 環境課ごみ対策G(内線 273)

毎月1日発行

〒444-0192 愛知県額田郡幸田町大字菱池字元林1番地1  
 ☎(0564)62-1111  
 FAX(0564)63-5139  
 幸田町ホームページ☑<http://www.town.kota.lg.jp>  
 Eメール☑[kota@town.kota.lg.jp](mailto:kota@town.kota.lg.jp)

この広報紙は地球にやさしい再生紙を使用しています。



発行☑幸田町 編集☑総務部企画政策課